

カーボンオフセット付き商品

双日プラネットが参入

中川製袋 化工と共同 まずレジ袋発売

双日プラネット（東京都港区、堀越利久社長、03・5520・3000）はカーボンオフセット付き商品の販売に参入する。第1弾としてプラスチックフィルムの製造を手がける中川製袋化工（広島県大竹市）と共同で、オフセット付きのレジ袋を小売店向けに11月初旬から販売する。2011年度に年1億5000万枚を販売し、1万5000トンの二酸化炭素（CO₂）を削減する。

双日プラネットはカーボンオフセットサービスの最大手、英カーボンニュートラルの日本代理店、リサイクルワン（東京都渋谷区）からCO₂削減クレジットを購入、

需要の5%強に相当する年約10億枚のレジ袋を製造販売しており、今後、そ

の一部をオフセット付き商品に移行する。双日プラネットは双日グループ

が保有する排出枠を活用しながらレジ袋だけでなく、ゴミ袋や弁当容器などの包装資材にもオフセット付き商品を広げる方針。

今回のCO₂削減クレジットは、ブラジルの燃料転換プロジェクトで生じたCO₂削減分の一部を認証排出削減クレジット（CER）として取得した。双日プラネットは双日が100%出資する合成樹脂の事業会社。